

## 【IDWR 感染症週報】

2026 年 1～4 週までをお届けさせていただきます。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-01-02.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-03.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-04.pdf>

### <発生動向総覧と状況>

- ・RS ウイルス感染症の定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。過去 5 年間の同時期の平均と比較してやや多い
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 3 週連続で増加した。過去 5 年間の同時期の平均と比較してやや多い

### <定点把握の対象となる 5 類感染症>

#### ・インフルエンザ

定点当たり報告数は 3 週連続で増加した。

都道府県別の上位 3 位は鹿児島 県 (35.19)、宮崎県 (29.36)、大分県 (28.90) である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は 647 例と前週と比較して減少した。都道府県別では 47 都道府 県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (22 例)、1～9 歳 (187 例)、10 代 (59 例)、20 代 (17 例)、30 代 (12 例)、40 代 (13 例)、50 代 (24 例)、60 代 (40 例)、70 代 (99 例)、80 歳以上 (174 例) であった

#### ・新型コロナウイルス

定点当たり報告数は増加した。

都道府県別の上位 3 位は北海 道 (6.02)、栃木県 (5.89)、山形県 (5.10) である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症 入院サーベイランスにおける報告数は 775 例と前週と比較して増加した。都道府県別では 46 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (29 例)、1～9 歳 (37 例)、10 代 (8 例)、20 代 (7 例)、30 代 (8 例)、40 代 (15 例)、50 代 (33 例)、60 代 (63 例)、70 代 (187 例)、80 歳以上 (388 例) であった。

### 急性呼吸器感染症

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位 3 位は栃木県 (93.91)、宮城県 (89.09)、埼 玉県 (88.55) であ

る。

#### RS ウイルス感染症

定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。

都道府県別の上位3位は島根県（3.36）、山形県（2.04）、福島県（1.64）である。

#### 咽頭結膜熱

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県（1.80）、長崎県（1.55）、島根県（1.36）である。

#### A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県（7.15）、福岡県（5.90）、新潟県（5.30）である。

#### 感染性胃腸炎

定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は群馬県（16.96）、岐阜県（14.22）、東京都（13.05）である。

#### 水痘

定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県（1.52）、島根県（1.18）、沖縄県（1.00）である。

#### 手足口病

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県（0.84）、長崎県（0.58）、熊本県（0.56）である。

#### 伝染性紅斑

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県（1.81）、熊本県（0.98）、岩手県（0.89）である。

#### ヘルパンギーナ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県（0.28）、佐賀県（0.17）、秋田県（0.15）である

#### 流行性耳下腺炎

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県（0.11）、群馬県（0.08）、埼玉県（0.07）、岡山県

(0.07) である。

・基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は群馬県（1.11）、栃木県（1.00）、岐阜県（1.00）、島根県（1.00）である。

感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）

定点当たり報告数は減少した。11 都道府県から14 例報告 があり、年齢群別では1～4 歳（3 例）、5～9 歳（8 例）、10 代（3 例）であった。